

厚生関係

●新規事業

- △生活・介護支援サポート事業
- △貸出用車椅子購入事業
- △女性特有のがん検診事業

- △住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

●主たる事業

- △通所サービス利用促進事業
- △子育て応援特別手当支給事業

●審査内容の主なもの

問 子育て応援特別手当は、対象者に抜けないのか。

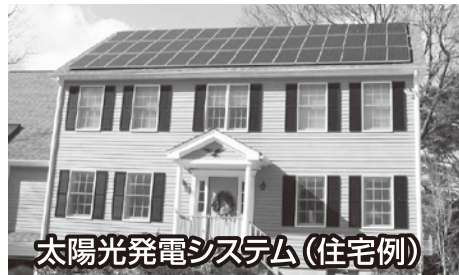
答 平成20年度の支給対象者数は445名でそのうち2名が未申請のため、電話連絡により最終確認を行います。
平成21年度は、初めにDV被害者に対する事前申請の受付を行なった後、その他の支給対象者の申請を受け付け、申請期限は前年度同様、申請受付日から6ヶ月間となります。



♡貸出用車イスもリニューアル

問 住宅用太陽光発電システム設置補助金の今後については。

答 国の動向を見ながら継続していきます。



問 生活・介護支援サポート養成研修の内容については。

答 ボランティア活動を行なう気持ちを持たれている方を対象に、高齢者の生活を支援していく方を養成するもので、今年度は制度等や知識についての学習になります。

問 貸出用車椅子の購入事業の運営主体は。

答 従来通り社会福祉協議会による貸出事業として実施します。

●主たる事業

- △担い手経営基盤強化事業

- △商工振興育成対策事業
- △特定道路改良整備事業
- △県営事業負担金（J-R貨物基地アクセス道路）

●審査内容の主なもの

問 商工費の補助金の計上に関連して具体的な内容が判りにくい。事業内容が明らかになかった上で判断できないのか。

答 商工会へは、従来から年間事業計画により事業内容を精査し、事業採択を行っています。今回、新たな振興策事業が具体化したため、補正をお願いしたもので、今後は、事業内容が判るよう整理し、進捗状況・成果などについてお知らせします。
問 J-R貨物基地移転事業に伴う負担金の必要性や現在話題になっている国の直轄事業負担問題に伴い、同様の県

産業建設関係

事業への町負担金のあり方は。

答 今回の負担金はアクセス道路の整備負担金ですが、周辺地域も利用できることから、一般の県道整備と同様に負担は、やむを得ません。また、国が責任を持って実施すべきものについて、今後は、改善等の要望をしていきます。



砥部伊予松前線（大溝～永田）



八倉松前線（永田）